

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(上島小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・ 学校支援活動の充実
- ・ 家庭や地域への啓発として、広報活動の充実化

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 初めての方が複数名在籍していて戸惑いもみられたが、学校教育目標や学校運営の基本方針について学校から丁寧な説明があり、それぞれ立場の異なる委員から様々な角度から意見が出て熟議することで学校運営の基本方針について理解が深まり承認に至った。
- ・ 熟議を通して、温かい学校風土の醸成という学校経営目標の成果が出つつあるのを感じる。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

教育活動の内容や成長している子どもたちの様子を確認しながら学校支援活動などについて、立場の異なる委員の方々と熟議を進めることができた。

- ・ 様々な意見があったが、「子供に挨拶をしてみる、困った人が居たら話を聞いてみる、そんな出来る事から始めてみませんか」との意見も出て、初めての委員でも活動の糸口を掴みながら支援活動を始めることができた。
- ・ 他のグループの発表を聞き参考になる意見があった。
- ・ 自分の立場から他の民生委員の声を代弁する形で意見を出すことができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

以下より、十分な情報発信を行えたと考える。

- ・ 協議会で話し合ったことを民生委員の定例会で伝えた。
- ・ 様々な方法で情報発信を行えた。家庭や地域により広く、より分かりやすく伝える具体的な方法等(実際に会って話し合ってみる、スマホを使う等)が出されたので参考になった。
- ・ 来年度の学校目標は、学校運営協議会で出された意見が反映されていた。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

「かわりの中で自他の成長、よさを実感できる子の育成 自己肯定感・自己有用感を高め、どの子にも居場所のある学校」にするために、『学校と地域と家庭の繋がりがより強くなれる』ようにする。

- ・ 学校支援活動の充実
 - ・ 家庭や地域への啓発として、広報活動の充実化
- (※出来ることから始めて、オンとオフを大切にしませんか)